

2 目標達成計画

作成日: 平成 26年 12月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	居住が二階で非常口や階段が狭いことがあり、災害時の避難経路確保が課題になっており、滑り台なども検討してきたが消防法の関係などで設置が難しく、車いす、手引き歩行、自立歩行など身体状況に合わせた避難方法を検討する必要がある。近所の方々の協力を得て、職員・近所の役割を訓練を通して構築していきたい。	・水害、火災等状況に合わせた避難訓練を、近所の協力の元実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・水害時想定は、近所の高台のお庭を避難所に訓練を行う(車いす・手引き・自立歩行車) ・火災想定は、夜間や階段の昇降、身体状況に合わせてベランダ待機やおろす等の訓練 ・近所の方々の協力時には役割を分担し指示を出す職員等役割 ・職員交代勤務であり全員が緊急時の対応が出来るように1年かけて周知する ・消防署(分団)を交えての訓練を行い助言を頂く 	12か月
2	13	職員のモチベーションを上げて仕事に対し前向きに働ける環境を作る。	・指示を待つのではなく自ら考え、進んで仕事が出る様に自立していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・得意分野、良いところを見つけて誉める ・すぐに答えを出すのではなく自分で考えてどうしたらよいか試行錯誤するチャンスを与える ・怒らず、優しく教える ・相談、報告しやすい、雰囲気づくり 	6か月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。